

浅間台

松戸市立第二中学校

令和4年度 7月号

<『サステナブルな社会の担い手として』～標準服「SDGsモデル」の導入～>

校長 佐野 公雄

過日、アンケートを実施した『松戸市中学校新しい標準服「SDGsモデル」』が決定しました！本校も、来年度（平成5年度）からの導入を予定しています。本校ホームページにも掲載していますので、ご確認ください。（※写真は見本です。ネクタイ等の仕様については学校ごとに違います。現在検討中です。）



さて、今回の新しい標準服導入の観点は、「SDGsモデル」と銘打っている通り、2015年の国連サミットで採択された、2030年までの国際目標『SDGs』の理念が基盤となっています。昨年度から完全実施された学習指導要領の総則3にも「持続可能な社会の作り手となることが期待される生徒の育成」について記されており、本校でも、総合的な学習の時間などを活用して、少しずつSDGs学習を進めています。今回の新しい標準服は、SDGsの開発目標5「ジェンダー平等を実現しよう」から、女子生徒もスラックスを穿くことができる仕様になっています。また、開発目標12「つくる責任・つかう責任」から、今まではリサイクルしても男子は男子、女子は女子の制服しか着られませんでした。新しい標準服では、男女兼用で着られる仕様になっているので、これまで以上に家庭内での着まわしができ、リサイクルしやすくなっています。生地も丈夫で、家庭での洗濯もできるということです。

子どもたちには、単純に「新しい制服ができる」と一喜一憂するのではなく、この「SDGsモデル」の導入をきっかけに、「持続可能な社会の作り手」として、身の回りの様々なことに目を向け、「困っている人を見過ごさない社会」「すべての人が平等に生活することができる社会」「安全で平和に過ごせる世界」を構築するために、どのような行動をすればよいかを考えて欲しいと思っています。例えば、物を大切に使うことやゴミを減らすことなど、日常的にできることも多いと思います。そうした意識や気遣いの積み重ねが、やがてグローバルな視点で「持続可能な社会」をつくっていくことに繋がっていくと思います。

また、令和5年度より、校内服（ジャージ、体操服、ハーフパンツ）も右の写真のとおり、リニューアルいたしますのでお知らせいたします。昨年度から、メーカー数社に試作品を作成してもらい、着心地・通気性・速乾性・耐久性・デザイン・金額等、様々な要素を総合的に検討して決定いたしました。制服・ジャージともに新しいものが導入され、保護者・地域の方々には、大きく雰囲気が変わったように見えるかもしれませんが、これからも、子どもたちの安全・安心を支えていただきますよう、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

